

本誌未公開の海外4MINIネタを公開!  
今年も4MINIは国内、海外、ともに熱いです!

THE  
4MINI  
WORLD  
SURPRISING  
DISCOVERY

vol.15



DAX&MONKEY  
SZENE WIESBADEN  
Germany

09年6月に発売された別冊4MINIちゃんぶ15に掲載したドイツの4MINIイベントシーン。大都市フランクフルトからほど近い立地条件などにより、多くの4MINIファンがドイツ内外から集結し、カスタマイズのメニューも多彩を極めた見どころの多いイベントだったが、今回はそんな注目イベントでの未公開ネタも交えてヨーロッパの4MINI事情をご紹介。いやいや、今年も4MINIカスタムは世界中で熱く注目されてます!

- Event:DAX&MONKEY SZENE WIESBADEN
- Place:SPEEDWAY (DIEDENBERGEN Germany)
- Photo&Report:Tsuuyoshi Chiwa
- Translation:Keizo Kagaya(KA-HA-Trading GmbH)
- Special Thanks:C.F.POSH(Tokyo & Osaka)

## 日本製の4MINIを 日本製パーツで楽しみます!

▼フラットな会場だったため、高い場所から写真が撮りたくてウロウロしているとスコいおっさんが登場! なんとどこから脚立を持ってきてくれて「オレが掴んでやるぜ!」みたいに手伝ってくれちゃって。ホント感謝感激でビール奢りました。



▼走行イベントは一切ナシなのに、SS1/32mileで使うようなバーナムト用ボードが置いてあってビックリ!どこかでドラッグレースも流行ってるのかな?周囲の人に聞いてみたんですが、誰も知らないようでした。残念…



▲日本製の新品パーツがイチ早く装着されていることも日本製パーツの人気の高さを物語っている。



▲ドイツの有名SHOPモンキーガレージは、このイベントの直前にヨシムラの代理店になったそう、誇らしげにヨシムラフラッグを掲げてました。他にもキタコ、SP武川、Gクラブ、デイトナなど、日本製パーツのステイタスが非常に高いのは世界共通のムーブメントです。



▼今回のイベントは、フランクフルト近郊のWiesbadenという場所で初の開催となった。2日間の来場者は主催者の予想を越える3000名ほど。



▲陽気なおばちゃんが山盛りのポテトとソーセージ、それにビールを出してくれる。質素なツマミに見えますが、なぜかドイツで食べるトチャウまなのが不思議です。



### ダブルキャブ仕様のレッドブルカラー

レッドブル(オーストリア)の隣国、ドイツらしいレッドブルカラーも目を引くけど、なんと2つに分割するマニホールドを装着して左右にキャブレターを2個装備している点に驚愕! 2本出しのカーボンサイレンサーは精肉タイプとし、ラウンド式のオイルクーラーやブルーにペイントされたナイス110の腰下も目立ってます。



ミリタリー調が  
イイでしょ~!

**Owner**  
Maggus Grimm  
Hometown  
Schaafheim  
Machine  
Monkey

ミリタリー調のデザート色に全身を包んだシブいカスタム。ブラックの部分とデザート色でペイントする部分のチョイスが絶妙なため、目で魅力を感じる仕上がり。クリアのクラッチカバーはドイツのHOT SHOT MONKEYS製を採用。



▲長身のオーナーが伏せて乗っても窮屈にならないフラットなシート。ハンドルの高さやステップ位置なども快適ライディングが実現できるように設定されている。走りを意識したマシンの作り込みがユーロの共通項。ナンバーの赤い文字は旧車だけが獲得できるヒストリックカー区分となる。

▶スイングアームとリヤショックはデイトナ製。エンジンはナイス110のクラックケースを使用しSP武川製スーパーヘッド(デコンプ付き)で180cc化。倒立風フォークやスポークホイールはメーカー不明となっている。



前後の車高が  
キモなんです

シブいペイントは  
パウダーコートです

THE  
4MINI  
WORLD  
SURPRISING  
DISCOVERY  
vol.15  
DAX&MONKEY  
SZENE WIESBADEN  
Germany



**Owner**  
Anatole Komandirow  
Hometown  
Wiesbaden  
Machine  
Monkey Z50A

レザーカバー  
見てください!



日本製パーツ  
最高です!

**Owner**  
Klingeustein Stephan  
Hometown  
Kaufungen  
Machine  
DAX



レザータンクカバーが斬新!

SP武川製スーパーヘッドや5速ミッション、オイルクーラーなどを採用し、ストライカー製マフラーやGクラ製8インチホイールなどでキメ細かな仕上がり。特筆したいのは日本でも流行るかもしれないレザー製のタンクカバーだ。

▲レザー製のタンクカバーはツートンな仕上がりとし、エンブレムも装着される見事な作り。まったく新しい手法とテストが斬新です。  
▶パワーフィルターには「候」のような文字が入っていますが、じつは「猿」と書きたかったというのはナイスです。

武川スパヘ&キタヨマフラー  
Gクラ15cmロングスライです!

メッキとスカイブルーのペイントが美しい仕上がりでDAX。エンジンはナイス110の腰下にSP武川製スーパーヘッドというヨーロッパでは定番とも言える組み合わせ。さらにキタヨマフラーやGクラ製15cmロングスイングアームなど日本製パーツを多数チョイス。

▶ペイントやシートだけでなく、マニホールまで自作という力作。程よい車高で乗りやすそうなポジションは「ツーリングも楽しむ」ためのヨーロッパでは当たり前のスタイル。



シブく仕上がった  
でしょ!

**Owner**  
Rene Muntel  
Hometown  
Elmshoru  
Machine  
DAX

ヨーロッパで支持率の高い運送会社upsカラーにペイントされたDAX。フロントとリヤのキャリバー、スイングアームにはドイツのHOT SHOT MONKEYS製が採用され、前後タイヤもユーロブランドのハイデナウ製をチョイスしている。

▼ホイールやマフラー、ハンドルやフロントフォークアウトター、エンジンなどにまでブラックが採用され、車体のブラウンと見事な融合を見せる。60mmロングスライ化されたリヤ周りはディスク化されている。

ブラックと  
ブラウンで  
upsレプリカ完成!



**Owner**  
Stephan Lill  
Hometown  
Wiesbaden  
Machine  
Gorilla

シブく攻めるのが  
DE風です

ブラックとブルーでシブく決まったDE(ドイツ)流4MINIカスタム。前後サスペンションはあえて長めで前後バランスを調整し、短めなアップタイプマフラーは2本出しでワンプイントを演出。タイヤサイズは10インチで、日本でも見かけるメツラー製のME7TEENを装着。



▶ヨーロッパの4MINIの18割以上はドイツ製4MINI110のエンジンを使用しており、非常に高い信頼性でSP武川製のスーパーヘッドが搭載されている。このマシンも例にもれずブラックペイントされたマニホールを装着。



**Owner**  
Rene Denti(TLR)  
Hometown  
Homburg  
Machine  
Monkey

マフラーのフタ  
ユーロでは  
定番です

SP武川の4バルブヘッドを装着

ナイス110の腰下にSP武川製ソニックカムヘッドや乾式クラッチなどを装備。ホイールサイズは前後8インチ(デイトナ製)とし、フロント2.75Jリヤ3.5Jをチョイス。

▶スイングアームはデイトナ製10cmロングとし、リヤショックもヨーロッパで高い支持を得ているデイトナ製。また、マフラーエンドにはいつでも音量を下げる事が可能な可変式のフタが装着されているのがヨーロッパらしいカスタムだ。



NSR50に4MINI搭載!?

**Owner**  
Harold Bolz  
Hometown  
Berlin  
Machine  
NSR50

キレイなNSRを  
ベルリンから  
持ってきました

ヨーロッパではかなり珍しいNSR50なのに、さらにナイス110の腰下を搭載した4MINI。車体は400€(約50万円)で購入したという極上品で、エンジンの搭載にあたっての細部の加工もお見事な仕上がり。

◀この仕様で公道走行も  
カンベキだと言うから恐れ入る。ちなみにリヤショックは上下の取り付け位置を後方にスラしてワンプ加工。



▶キックの後ろ側のシート(↓)を20mmほど後方に押し自走車仕上げ。メッドがフロントタイヤに当たらないように、このように細かな加工も施されています。